

インドネシア, カリマンタン島, パランカラヤ (23rd Feb.-2nd March, 2007)

森林火災跡地の生態系修復が研究テーマです。



地表火跡



シダ類で覆われた
未植栽地



2002年の地表火で燃えた跡地に *Shorea balangeran* の苗木を植えた試験地です (Kapuas border, Since 2003)。

4年間で最大6mにも成長しました。成長が良く、生残率が90%くらいを維持していたので、今後、生態系修復のための植栽樹種として *S. balangeran* が有望になりそうです (右写真は植栽して成長した *S. balangeran* と研究協力者のサンパンさんとキツソさん)。



樹木の樹高と幹直径から個体のバイオマス量を推定する式のパラメータを得るために、植栽木を伐倒して、サイズと各器官(葉・枝・幹)の重さを調べています。この結果は、火災跡地の苗木植栽の効果をバイオマスの回復量で評価するために用います。